

事務事業名	住宅用太陽光発電機器導入補助事業	所属部	市民環境部	所属課	市民環境生活課
政策名	総合計画体系 (II) 環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	環境グループ	課長名	安食恵治
施策名	(05) 自然環境・景観の保全	担当者名	佐藤慎治	電話番号 (内線)	0854-40-1031 3581
基本事業名	(013) 自然環境の保全	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 210 015 410 617	新エネルギー機器導入補助金	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (17年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	住宅用太陽光発電設備の導入を促進するため、予算の範囲内で補助金を交付する 補助上限:3キロワットまで 補助単価:1キロワット当たり22,500円 (三洋製品は1キロワット当たり22,500円の上乗せ)	平成17年度からの事業

(2) トータルコスト

		単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体計画
① 事業費の内訳 (概要)	補助金 3,841千円	事業費	8,010					
		財源内訳						
		国庫支出金	千円	8,010				
		県支出金	千円			1,050		
		地方債	千円					
	その他	千円						
	一般財源	千円		3,373	3,841	2,500		
	事業費計 (A)	千円	8,010	3,373	3,841	3,550	0	
② 延べ業務時間の内訳 (業務の流れ等)	募集案内、補助金申請受付、決定通知、実績報告、支出	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	113	120	113		
		人件費計 (B)	千円	431	467	445	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	8,441	3,840	4,286	3,550	0	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	23年度実績 (23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	募集案内、補助金申請受付、決定通知、実績報告、支出	ア 広報の回数	回	2	1	2	2		
		イ 補助金申請受付件数	件	74	34	37	35		
	24年度計画 (24年度に計画している主な活動)								
	前年度と同じ								

目的	② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	太陽光発電システムを設置しようとする市民	⑥ 対象指標							
		ア 太陽光発電を設置しようとする市民	世帯	74	34	37	35		
		イ							
	③ 意図 (対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	より多くの市民が太陽光発電システムを設置することにより、CO2削減に貢献する	ア 設置数	基	74	34	37	35		
		イ 設置数累計 (平成17年度より)	基	144	178	215	250		
		ウ							
上位目的	④ 結果 (どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	地球温暖化防止につなげる 自然環境保護活動を実践することで、美しい農山村の風景を守る。	ア 設置数	基	74	34	37	35		
		イ 設置数累計 (平成17年度より)	基	144	178	215	250		

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況 (対象者や根拠法令等) はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者 (市民、議会、事業対象者、利害関係者等) からどんな意見や要望が寄せられているか?
東日本大震災発生以降、太陽光発電に関する関心が高まっている	補助単価の引き下げ等行なってきている。三洋製 平成17年度~20年度 60千円/kw、平成21年度~ 45千円/kw	議会から市内太陽光発電セルを製造するメーカーが誘致企業としてあり、産業振興の観点からも進めるべきだとの声がある 補助対象出力の上限を上げるべきとの意見あり。

事務事業名	住宅用太陽光発電機器導入補助事業	所属部	市民環境部	所属課	市民環境生活課
-------	------------------	-----	-------	-----	---------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 太陽光発電の利用を促進することにより、省エネの普及につながり、自然環境の保護及び循環型社会の構築に寄与している
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 自治体として、省エネルギーを推進する必要があることから、補助金交付要綱に基づき補助を行なっている
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 雲南市内の住居に限定されている
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 限られた予算の中で事業を行っており、成果向上の余地はない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 住宅用太陽光発電は設置費用も安くなってきており、これから更に普及していくと思われるが、平成24年度から島根県も市町村の上乗せ補助制度を実施。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似事業はなく、統廃合・連携はできない
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 補助単価の減額等行っており、事業費の削減は困難である
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 必要最低限の人件費で実施している
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 事業内容等公平公正である

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	特になし																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 補助単価や上限額等の検討が必要	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 普及状況及び他市町村の動向も踏まえ、見直しを検討する																							